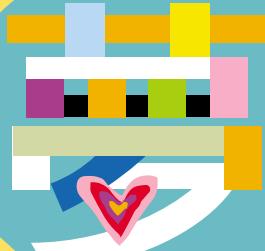


山口県教育広報誌

ふれあい

通信



2002 13号



特集：学力ってなんでしょう
—「確かな学力」の向上について考えてみませんか—

—「確かな学力」の向上について考えてみませんか—

平成14年4月から、小・中学校において、
新しい学習指導要領による教育活動が全面的にスタートしました。
高等学校においても、15年度の新入生から段階的に実施されます。
新しい学習指導要領による教育活動では、
いわゆる「生きる力」をはぐくむことを目指しています。



今回の特集では、

なぜ、「生きる力」が必要なのか、
「確かな学力」とは何であるのかについて考え、
また、「確かな学力」の向上のために、
学校や県教育委員会がどのように取り組んでいるのかについて
ご紹介したいと思います。

今なぜ、「生きる力」が必要なのでしょうか



● 子どもたちの現状

子どもたちの学習の状況については、文部科学省が行った調査や国際的な調査によると、知識・技能の習得やそれらを実生活で活用する力については、国際的に見て高い水準に位置しているという結果が出ています。しかし、その一方で、学ぶ意欲や自ら調べ判断する力、自分なりの考え方を持ち、それを表現する力などについては、必ずしも十分でない状況にあるとの問題点が指摘されています。

● これからの教育

こうした状況をみると、これからの教育では、知識・技能はもちろん重要ですが、それだけではなく、学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力まで含めて学力ととらえ、そうした学力を子どもたちにはぐくむ必要があると考えます。

● 「生きる力」をはぐくむ

新しい学習指導要領による教育活動では、学校、家庭、地域社会の一層の連携を図り、めまぐるしく変化する社会に対応できる力、いわゆる「生きる力」をはぐくむことを目指しています。

「生きる力」をはぐくむためには、自ら学び、自ら考えるなどの「確かな学力」や「豊かな人間性」、さらには、これらを支える「健康や体力」などを、ゆとりの中で子どもたちが身につけることが大切です。

「生きる力」とは

- ・子どもたちが自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力
- ・自ら律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力

生きる力

確かな学力

豊かな人間性

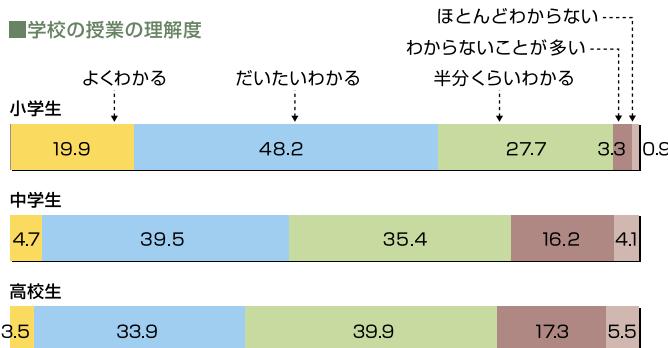
健康や体力

小・中学校で学習する内容が削減されるのはなぜですか

●これまでの教育はどうだったのか

これまでの教育では、ともすれば知識を一方的に教え込む教育になりがちで、子どもたちが十分その内容を自分のものとして身につけていないにもかかわらず、授業が先に進んでいくといったことが見受けられました。

※そうした子どもたちの現状を示すものとして、次のようなデータがあります。



文部省「学校教育に関する意識調査」(平成10年2月調査)

学校では「確かな学力」をはぐくむためにこんな取組みをします

各学校では、子どもの発達段階や地域の実情に応じて、次のような取組みを行っています。

●個別指導、繰り返し指導

基礎・基本が子どもたちに確実に身につくような指導を行います。

●発展的な学習

基礎・基本を十分理解できている子どものよさや可能性を伸ばします。

●総合的な学習の時間、体験的な学習、課題解決的な学習

身につけた基礎・基本を生かし、さらに、子どもたちが考える力、問題を解決する力などを身につけるようにします。

また、こうした学習には、家庭、地域社会と連携し、地域の教육力を活用して取組みます。

●幅広い選択学習

中学校・高等学校では、生徒が選択して学習できる幅を広げます。

●ゆとりの中で基礎・基本を身につけ、学ぶ意欲をはぐくむ

これからの教育では、教育内容を基礎的・基本的なものに厳選し、学校週5日制のもと、子どもたちがゆとりをもって学習し、その内容を確実に身につけられるようにしました。小・中学校の教育内容については、例えば、算数・数学、理科などは、現行と比べて3割程度減らしています。

また、子どもたちが選択して学習できる幅をこれまで以上に広げていますので、確実に身につけた基礎・基本をもとに、自分の興味・関心などに応じて、意欲的・主体的な学習がより活発に行われるようになります。

●確かな学力の向上へ

こうした取組みにより、子どもたちに、基礎・基本を確実に身につけさせ、さらに「自ら学び、自ら考える力」や「自ら課題を見つけ、解決する力」を育てるこによって、むしろ「確かな学力」をはぐくむことができます。

子どもたちは、こうしてはぐくんだ「確かな学力」をもって、より専門的な分野や社会に出ていくことができるのです。

「確かな学力」とは

知識・技能のみならず、学ぶ意欲や、自分で考え、自分で判断する力、自分で表現する力などを含めた総合的な力

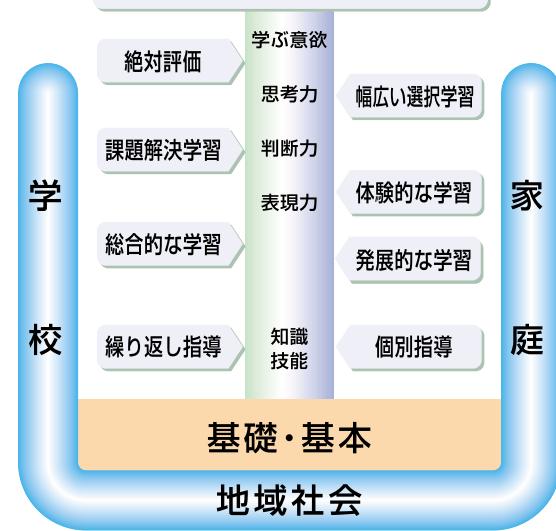
●目標に準拠した評価(いわゆる^{*}絶対評価)

子どもたちに、どれだけ「確かな学力」が身についたかを評価します。

なお、高等学校では、従来から絶対評価を行っています。

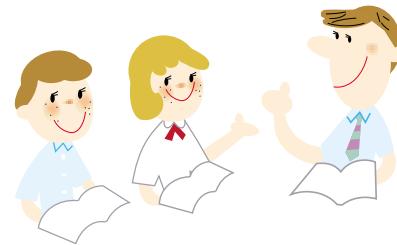
確かな学力をはぐくむ

自ら学び自ら考える



* 総合的な学習の時間 「生きる力」の育成を目指し、各学校が創意工夫を生かして、これまでの教科の枠を超えた学習などができる時間

—「確かな学力」の向上について考えてみませんか—



県教育委員会では
こんな取組みをします

県教委では、学校での取組みを支援するため、次のような取組みを行っています。

●指導方法の工夫改善

どのような方法で子どもたちに教えていくのが効果的なか検討し、教員の研修を行うなどの取組みを行っています。

(例) 教員の資質・能力の向上を図るための研修の実施

●指導体制の工夫改善

どのような体制で子どもたちに教えるのがよいのか検討し、制度化するなどの取組みを行っています。

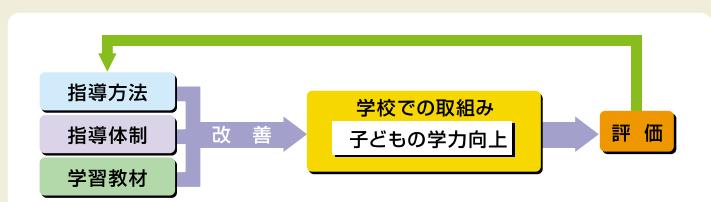
(例) 少人数指導の実施、小学校6年生に教科担任制を導入

●学習教材の改善

教員が学習教材をつくる際に参考となる情報を提供するなどの取組みを行っています。

●取組みに対する評価

今後、子どもたちに、基礎・基本を身につけさせ、一人一人の個性を生かす教育を進めていくため、総合的に見た学力の状況について、実態の把握に努めていきます。



インタビュー



子どもの声

総合的な学習の時間を兼ねた京都への修学旅行は、班に分かれ、テーマを持って学習に挑みました。事前に下調べをしていましたが、やはり本物の美しさには感動しました。この学習で、多くの人とふれあうことができたし、探る力、見つける力が身についたと思います。

山陽町立厚陽中学校3年

松原央樹くん



保護者の声

新学習指導要領や完全学校週5日制が当初の目標どおりの成果を出せるよう学校や県教委にがんばってほしい。一部には、学習内容や授業時間が減ったことを危惧する声もあるが、何事もファーストステップにはリスクはつきものであるし…

山口市



先生の声

総合的な学習の時間でハワイ出身の外国語の先生を招いて文化交流を行いました。子どもたちは英語やフラダンスを習い、言葉・文化の違う人の交流でコミュニケーションの力が身につき、積極的に自分を表現できるようになったと思います。

橋町立島中小学校

教頭 廣田登志子

*絶対評価 学習指導要領が示す目標に照らして、どれだけ学力が身についたかを見る評価

*相対評価 集団の中で、学力的にどの位置にいるかということを見る評価(従来の評価方法)

ひ

と

言

「失敗してもよくよせずに、勇気をもって恐れずにやれ。」



錦帯橋架け替え工事
大工工事総責任者
「海老崎組」代表
海老崎 純次さん
(えびざき くめつぐ)

私の家は十一代続いている大工ですが、仕事に関しては、親は全く誉めてはくれませんでしたね。ですから、親が文句をいわなければ、認めてくれていると思って、これまで仕事をしてきました。

橋を架ける時には、親には負けたくないという気持ちがありましたし、本心を言えば、先代や先々代との意地の張り合いのようなものでしたね。

棟梁は、弟子とともに成長するもんです。弟子や仲間の誰からも認められて、目標にならないといけない。けっこう大変ですよ。

また、弟子をとことん信用することで

すね。疑うより、騙されることです。警戒してもしょうがない。そんな弟子を持ったら諦めるだけです。人を裏切らないようにすることが一番大切なことです。騙されることはみやすいですよ。

大工として弟子に伝えることは技術と思っている人が多いと思いますが、実はそうではないんです。本当に伝えなきゃいけないことは、仕事に対する考え方です。取り組む姿勢です。それを学んでくれればいいと思っています。

「失敗してもよくよせずに、勇気をもって恐れずにやれ。」と、弟子には言っています。要は「気合い」です。



折り線

キリトリ



差出有効期間
平成14年10月
31日まで

7 5 3 8 7 9 0

山口市滝町一番一號
山口県教育庁教育企画室内

「ふれあい夢通信」編集部
行

7 5 3 8 7 9 0

7 5 3 8 7 9 0

折り線

保護者や地域の方のご意見をお待ちしております!

お寄せいただいたご意見は、今後の「ふれあい夢通信」の内容充実に役立たせていただきます。

■ 投稿方法

- この投稿用紙を切り取ってご利用ください。
- その他、ハガキ・封書、FAX、Eメールでご投稿いただいても結構です。

1. ハガキ・封書

〒753-8501 山口市滝町1-1
山口県教育庁教育企画室内

「ふれあい夢通信」編集部

2. FAX 083-933-4539

3. Eメール

a501001@pref.yamaguchi.jp

○〆切り 平成14年9月30日(月)

■ お問い合わせ先

山口県教育庁教育企画室

(電話) 083-933-4531

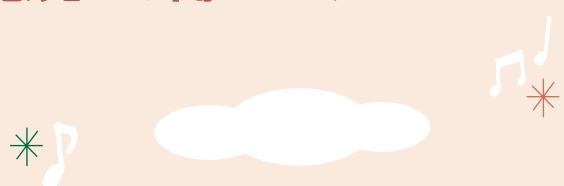
折り線

折り線



皆様の声を紹介するページができました。 —保護者や地域の方の ご意見をお聞かせください—

「子どもをまん中に山口県の教育を考える」
…これが、ふれあい夢通信のコンセプトです。



私たちは、学校、家庭、地域社会が子どもをまん中に「連携」して、
いつしょに教育を考えることが大切だと考え、これまで取り組んできました。
そして、これからもずっと、皆様といつしょに教育を考えていきたいと思っています。



もっと、皆様の声が聞きたい…
そんな想いから、みんなの広場はできました。

このページは、私たちと皆様でつくつていいくページです。
皆様からの、いろいろなご意見をお待ちしております。

※次号からは、この「みんなの広場」で、お寄せいただいたご意見を紹介させていただきます。

のりしろ
折り線

次回の特集テーマは「心の教育～いじめ・不登校の問題について～」です。

子どもたちに「生きる力」をはぐくむためには、今回の特集で取り上げた「確かな学力」と同時に、「豊かな人間性」をはぐくむことが大切です。
次回のふれあい夢通信では、現在、深刻な問題となっているいじめや不登校の問題を、特集で取り上げたいと思っております。
このテーマに対する皆様のご意見をお待ちしております。

1. 次回の特集テーマについてのご意見を自由にお書きください。

(自由記入欄)

2. 今回の「ふれあい夢通信」はいかがでしたか。(1.よかったです 2.ふつう 3.よくなかった) に○をつけてください。)

ア. 特集
1 2 3

イ. ひと言
1 2 3

ウ. ふれあい交差点
1 2 3

エ. Penちゃん
1 2 3

オ. ふれあい掲示板
1 2 3

3. 今後、特集のテーマとしてどんなことを取り上げてほしいですか。

その理由：

※差し支えなければご記入ください。

ご住所 :

お名前	年齢	歳	性別	□男 □女	お子様の年齢	歳
-----	----	---	----	-------	--------	---

ご協力ありがとうございました。

折り線
のりしろ

ふれあい交差点

日本の国技。相撲部の活躍

山口県立響高等学校では、小・中・高が連携し、地域の協力も得ながら相撲競技を盛り上げています。

平成11年度には、連携する豊浦中学校が山口県選抜チームとして臨んだ全国大会で、優勝をし、さらには川棚相撲クラブの小学生が、わんぱく相撲全国大会で個人優勝するなど、豊浦町の相撲を全国にアピールすることができました。

このような環境で臨んだ、今年度最初の全国大会である第86回高校相撲金沢大会で本校チームが3位入賞を果たし、幸先よいスタートを切ることができました。

県立響高等学校相撲部

山口県立響高等学校相撲部は現在25名で活動しています。シーズン中は、毎日、豊田湖ボートコースへ通い、美しい自然の中で、爽快にボートを漕ぎ、気持ちのいい汗を流しています。

6月8、9日には、豊田湖ボートコースで「第46回中国高等学校ボート選手権大会」が開催され、日本宝くじ協会の補助をうけて購入した新艇でレースに出場しました。新艇は、漕ぎやすい艇で、気分を

できました。

小・中・高が一丸となって取り組む豊浦の相撲、これから夏に向けてさらに精進し、それぞれの目標に向けて飛躍したいと思います。



優勝めざして、これからも頑張ります!

新しいボートに夢をのせて

県立西市高等学校ボート部

良くした選手たちは、日頃の練習の成果を十二分に発揮しました。



みんなの呼吸をそろえて。

地域交流の学園祭 早鞆高等学校

早鞆高等学校は、下関市にある男女共学の私立高校で、昨年、創立100周年を迎えました。

去る6月8日には、恒例の「早鞆祭」が行われ、「集う人 広がる心 早鞆祭」のスローガンの下、全校1,100名以上の生徒が集い、生徒会の運営で吹奏楽や平家太鼓、合唱などが行われ大いに盛り上がりました。

「早鞆祭」の特色は、各クラスやクラブの生徒たちがバザーや展示などの催し物に参加することと、事前に学校周辺の各家庭にチラシの案内を入れて、地域の方々にも来ていただくなど、地域交流にも力を入れていることです。

これからも「早鞆祭」を、地域交流の場にするため一層がんばります。



早鞆祭をぜひ満喫してください。

山口きらら博メモリアルイベントへ行こう!

会場／県立きららスポーツ交流公園（阿知須町）

「山口きらら博」の1周年を記念して、元気満載のメモリアルイベントを開催します。

会場には、子どもたちも参加できる、遊んで・学ぶ多彩なイベントが用意されています。見て、聞いて、体験して…、さまざまなイベントをお楽しみください。

○オープニングイベント

7/27(土) 9:00～17:00

28(日) 9:00～16:00

サッカー教室、ビーチバレー大会、元気キッズカーニバル、キッズトライアスロン大会 など

○リレーイベント 8/11(日)～11/10(日)

期間中に県内各地において、イベントが予定されています。

○ファイナルイベント

10/26(土) 9:00～16:00

27(日) 9:00～18:10

きらら物産フェア、キッズ「いきいき・エコパーク」イベント、きらら浜「第九」演奏会 など
問/メモリアルイベント推進協議会 TEL083-933-3265



あの会場に。元気、再来!



ふれあい掲示版

イベントカレンダー 2002年7月▶11月 子どもたちと一緒に参加、見学できるイベント案内

山口県教育研修所(山口市) 電話 083(987)1160

● 8/27(火)・28(水)

「プラネタリウム イン セミナーパーク」

対象/一般(小・中学生は保護者同伴) 定員/各40名 締切/1週間前
【公開講義(一般県民の皆様もお申し込みになります)】

電話 083(987)1180

● 8/5(月) 保育環境について

● 8/8(木) 総合的な学習の時間を考え方(午前)
「生きる力」を育もう(午後)

● 10/17(木) 学習指導の充実とこれからの評価の在り方

● 10/18(金) これからの国際理解教育の在り方

● 11/6(水) 自己表現力を育てる指導と評価の在り方(高校)

山口県立山口図書館(山口市) 電話 083(924)2111

(休)毎月曜日、8/30

● 8/1(木)～9/29(日) 日本の映画

山口県立山口博物館(山口市) 電話 083(922)0294

(休)毎月曜日

● 8/2(金)～9/1(日)

企画展「鉄と人の文化史～よみがえる赤羽刀」

● 8/9(金)～8/11(日) 科学工作講座

対象/小学4年生以上 定員/90名 締切/7/30

● 8/25(日) 昆虫の名前を調べる会 対象/小学生以上

山口県立美術館(山口市) 電話 083(925)7788

(休)毎月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)

● 9/12(木)～9/29(日)

第6回やまぐち県民文化祭 第56回山口県美術展覧会

山口県立萩美術館・浦上記念館(萩市)

電話 0838(24)2400 (休)毎月曜日

● 7/20(土)～9/1(日)

日本陶磁5000年の至宝 愛知県陶磁資料コレクション展

山口県文書館(山口市) 電話 083(924)2116 (休)毎月曜日

● 8/1(木)～8/30(金)

18、19世紀、東アジアの地図と測量技術

石城山青少年宿泊訓練所(大和町) 電話 0820(48)2108

● 8/6(火)～8/9(金) いわき原人の旅～海彦・山彦を探して～
対象/小学5年生～高校3年生 定員/20名 締切/7/30

● 9/7(土)・10/5(土)・10/19(土)・11/30(土)

セカンドスクール in IWAKI

対象/小中学生 定員/各20名

秋吉台青少年宿泊訓練所(秋芳町) 電話 0837(62)0106

● 8/5(月)～8/9(金) 秋吉台少年少女キャンプ
対象/小学4年生～6年生 定員/40名 締切/7/22

● 8/26(月)～28(水) 秋吉台少年少女キャンプパート2
対象/小学4年生～6年生 定員/40名 締切/8/9

● 9/7(土)～9/8(日) 秋を満喫 秋吉台のおいしいおは梨
対象/小中学生とその家族 定員/40名 締切/8/29

大島青年の家(大島町) 電話 0820(76)0913

● 8/3(土)～8/5(月) われら瀬戸内探検隊

対象/小学4年生～中・高校生 定員/30名 締切/7/26

● 9/7(土) LET'S USA

対象/小中学生 定員/30名 締切/8/30

● 10/26(土)～27(日) 遊遊らんど大島

対象/幼児とその家族 定員/50名 締切/10/18

● 11/9(土)～10(日) 色づく大島みかんにチャレンジ

対象/小中学生 定員/30名

光青年の家(光市) 電話 0833(72)5512

● 8/8(木)～11(日) わんぱくチャレンジキャンプ

対象/小学4年生以上の児童・生徒 定員/50名 締切/7/25

● 8/18(日)・11/9(土)・12/1(日)・12/21(土)

手作りソバを楽しもう

対象/児童・生徒とその家族 定員/40名 締切/8/4

● 9/7(土)～8(日) 秋の自然見つけ隊

対象/児童・生徒とその家族 定員/30名 締切/8/24

● 10/19(土)～20(日) 親子で夢づくりをしよう!

対象/4歳以上の幼児及びその保護者 定員/50名 締切/10/5

油谷青年の家(油谷町) 電話 0837(32)1000

● 8/7(水)～9(金) 冒険いっぱい 夢いっぱい～無人島へ行こう～
対象/小学4年生から高校生 定員/60名 締切/7/24

● 8/24(土)～25(日) おもいっきりマリン～シーカヤックに挑戦～
対象/子どもとその家族 定員/50名 締切/8/10

● 9/7(土)～8(日) さざ波キャンプ in 油谷～いかだテントに挑戦～
対象/子どもとその家族 定員/50名 締切/8/24

萩青年の家(萩市) 電話 0838(22)4730

● 9/7(土)～8(日) Enjoy! 萩焼

対象/家族及び個人(10月の本焼きに参加できる方) 定員/40人 締切/8/23

● 10/5(土)～6(日) 「挑戦! 君は太公望になれるか」

対象/小学5・6年生 定員/30名 締切/9/19

秋吉台少年自然の家(美東町) 電話 08396(2)0581

● 9/21(土) こんばんは!十五夜お月さんと秋吉台で秋祭り
対象/幼児(4・5歳)とその家族 定員/50名

● 10/5(土)～6(日)

自然にいどむ!～子どものつどいイン秋吉台～
対象/小学4～6年生 定員/50名

● 11/9(土)～10(日)

どろんこ探検隊～ごぼう掘りと洞くつ探検～
対象/家族 定員/50名

十種ヶ峰青少年野外活動センター(阿東町)

電話 08395(8)0033

● 8/8(木)～8/10(土)

チャレンジ・MTB～小京都・津和野ヘツーリング～

対象/小学5年生～中学生 定員/30名 締切/7/25

※ 詳しい内容については、各施設にお問い合わせください。

皆さん、新しくなった「ふれあい夢通信」はいかがでしたか。

編集部では、これからも教育に関する情報を、皆さんに分かりやすい内

容で提供していきたいと考えています。

次号からは、皆さんのご意見も誌面に反映させ、「学校」、「家庭」、「地域社会」が、より密接に語り合える場を「ふれあい夢通信」で実現させたいと思っています。

今後取り上げてほしいテーマなどありましたら、ぜひお知らせください。

これからも、ご愛読よろしくお願いします。(ふ)

ふ
れ
あ
い

通信
編集部より

山口県教育庁教育企画室

住所 〒753-8501 山口市滝町1-1

電話 083-933-4531

FAX 083-933-4539

Eメール a501001@pref.yamaguchi.jp